

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	技術供与のため、光フローハロゲン化技術の高度化実用化を目指した研究
代表機関名	富士フイルム富山化学株式会社
研究開発代表者名	毛利 勝
全研究開発期間	平成28年度～平成30年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000048376.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている

・ 本課題は、光フローハロゲン化技術の検討がハード、ソフト面の両面から進められ、光フロー式合成法によるスケールアップと工業用反応装置の開発に繋がった。さらに、臭素付加を効率良く合成する方法を開発したことは、臭素の環境汚染を配慮しての工夫としても、評価できる。また、ブロモメチルアレンの製造方法の確立、工業用光反応装置の開発がなされた。

・ 今後、パイロット機での中量製造が行われ、工業レベルの実製造において実績が上げられることを期待する。

以上